



世田谷区立砧中学校 校長室だより
令和4年 5月16日
第 13 号
校長 大坂 崇

教育目標 「豊かな人間性の育成」 ◎ 集団生活における責任感と自主性を養う ◎ 健康な心身の育成と勤労の喜びを培う ◎ 基礎学力の充実を図り深く考える姿勢を育てる		
社会性の学び	知的的な学び	心と体の学び
自他の尊重 地域貢献	主体的な学び 学習の定着	心身の健康

メタ認知と学習

中学校での「学び」を捉えなおす

1 メタ認知能力の高い人と低い人

メタ認知能力の高い人	メタ認知能力の低い人
<p>◎良好な人間関係</p> <p>他人とのトラブルも「なぜ相手が怒ったのか」「自分に非がなかったか」と客観的に分析。冷静に自分と全体の状況を把握し、同じ失敗を防ぎ改善につなげる。</p> <p>◎変化の激しい時代に適応</p> <p>激しく変化する中で「自分の知識や考え方が古くないか」「過去の栄光に縛られていないか」を冷静に確認。変化に柔軟。現代社会で、ビジネスでもプライベートでも非常に重要な力。</p> <p>◎自己分析力が向上</p> <p>自己分析能力も優れ、自分を客観視し、自然に自分に足りないものが見えてくる。</p> <p>自分の傾向や弱点を理解し、冷静に自己分析し、自分を成長させる機会が増加。</p>	<p>◎自分中心の人間関係</p> <p>友達と食事をするお店を選ぶ場合、相手の希望は考えず「自分が好き」という理由で決定。相手が好きでない食べ物でも、無頓着。</p> <p>仕事や人間関係でも同じことが繰り返し起き、周りに「空気を読めない」と思われる。</p> <p>「自分のことを知りたくない」「自分を理解しない周囲が悪い」と考える傾向も強い。</p> <p>「自分はマイナス思考だ」とわかっていても「他人は関係ない」「もっとひどい人もいる」と考え、欠点を受け入れない。</p> <p>人のアドバイスも聞かず、ひどい場合は、「自分はこういう人間だから」と開き直る。</p> <p>自分の成長の機会を絶ったり、他人に迷惑をかける。</p>

2 学習・・・「主体的・対話的で深い学び」

主体的：自分から
対話的：他者と協働して
深い：分析力を駆使して

いずれも「メタ認知」に通じる

3 教員の意識として・・・

授業で、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を体現するには
教員に「メタ認知」への高い意識が必要 = 教員も「メタ認知」の向上を

この意識があつてはじめて「クリティカル・シンキング（批判的思考）」ができる

*「メタ認知」のない「批判」は「批判的思考」ではなく、「他者非難」でしかない

これは教育活動ではない

*協働的な活動に、必須の意識

*適度に自身の認知状況をモニタリングし、コントロールできるメタ認知能力が必要
(⇒ 学校生活で生徒が様々な学習や活動をする時の視点)

*ノートや提出物の評価も「メタ認知」（分析・改善による「学び」の深化）に通じている
と教員は意識を・・・（自らの思考の過程や学びの調整を記入させることが大事）